

1月18日、PTA主催の一大イベント、「伊野小バザー・わかあゆコンサート」が開催されました。今回も広い運動場すべてを駐車場にしないと車が入りきれないほどたくさんの方々に集まっていただき、盛大に開催することができました。

バザーでは家庭の協力のもと、タオルや食器類、おもちゃやぬいぐるみ、小物類や標準服（制服）などたくさんの商品が集まり、前日の値付けから当日の販売まで多くの保護者の方に参加していただき、多大な収益を得ることができました。最後には石鹸やタオルの詰め合わせがなんと10円で販売されるなど、大盤振る舞いで、まるでデパートのバーゲン会場を彷彿させるかのようでした。

またその日には、各団体からの出店もあり、うどんや焼きそば、カレーやたこ焼き、チキンナゲットやリンゴ飴、さらにはつきたてのお餅などお祭りの出店に負けないぐらいの多くの種類の食べ物が店頭で並びました。準備する保護者の方や地域の方々も手慣れたもので鮮やかな手さばきで商品ができていました。販売開始を前にそれぞれの出店場所には長蛇の列ができ、ソースやカレーの匂いに子ども達の食欲もそそられ、待ちきれない様子でした。

出店の販売が開始されると、「いらっしやい、いらっしやい！」と子ども達の威勢のいい声が場を賑わせました。北風が吹き、少し寒い日でしたが、食べ物で体の芯から温まりました。おなかも膨らみ、希望の商品も手にした後は、いよいよ子ども達が主役の「わかあゆコンサート」の始まりです。



今年は、12チーム52名の参加となりました。出演時間は3分以内と限りがありますが、子ども達は「このとき」に向けて、それぞれ練習を重ねてきたようです。その成果もあり、どのチームも今人気のグループの歌や振付を真似て、また少しアレンジしてのダンスを堂々と披露してくれました。生歌を聴かせるチームや人気ご当地キャラクター「ふなっしー」の登場もあり大歓声を浴びていました。

自分達がやりたいと思えることは、意欲的な晴れやかな表情で、自己表現できるということを実感します。子ども達もさることながら、衣装や編曲などで協力してくださったご家族や、応援パフォーマンスで会場を盛り上げてくださった保護者の皆さんに感謝です。

今、教育の中で話題になっている『キャリア教育』は、自己を「見つめる力」、他者と「関わる力」、最後まで「やりぬく力」、夢や志を「かなえる力」の4つの力を育むことが大切だとされています。

自分たちの手で育てて収穫した米で餅をつき、販売をした5年生。コンサートに出演した子ども達は、この4つの力を育む良い機会であったように思います。

今後とも保護者や地域の皆さんと手を携えて、子ども達の成長を見守り、励まし続けていきたいと思えます。

